

予が採りし道路

ベシテレ
クの一軒
家

コキヤ

此地より喀喇崑崙嶺に到るには三道ありて、其の東なるを桑珠道、其の西なるを可々牙道、其の中間なるをキリヤン道と稱す。該三道中、可々牙道を最良とす。予は即ち其の道路を採りし者にて、以上三道は、喀喇崑崙嶺北、一日程の處に於て相合す。いでや可々牙道の概要を左に掲げん。

十七日午前六時三十分出發、前途は愈々崑崙山脈に迫りたり。行て七時五十分に至る頃、道路は沙漠帶波狀地と變じ、左側は耕田、右側は約二千米突を隔て、耕地あること約一里半、遂に全く沙磧地と爲り、十時十五分の頃、兩側砂崖數尋に及び、相距る約二千米突内外の廣谷地に入る。十二時以降細沙地に入り、只處々草木の點々相生するを認む。午後零時四十分擺什鐵列克に投宿す。此地は憐れ一獨立家屋あるのみなり、行程約十里とす。

翌十八日午前六時出發、十時十七分ウリクハキ(一家)に着す。此間約一里、谷地漸く開けて、楊柳相連り、其の東方遙に一連の部落を見る。即ちエズバシ、エデリキ、ウシヤクバシの三村にして、人家併せて約五百、人口約三千、每週一回市を設くと。

九時頃又谷地と爲り、十時過始めて人家に接し、尙ほ行く一里餘、午後零時十五分、可